



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年7月31日



ふるまい会

6月26日(木)午前11時から、問屋町会館1階会議室において、青森交通安全協会問屋町支部の第41回定時総会が開催された。  
総会には同支部会員39名に加え、来賓として青森警察署の堀井安全教育係長、若松主任並びに青森交通安全協会の飛澤専務理事が出席。多田支部長が議長に選任され、議案審議の結果、全て原案どおり承認となった。  
総会開催にあたり多田支部長は「会員企業及び関係各位の皆様のご協力のおかげで、今年の4月1日に無事、死亡事故ゼロ6千日を達成することができた。6千日達成決起大会の様子はテレビや新聞などで取り上げられるなど、記録に対する世間の関心の高さがうかがえ、私自身も、さらに気を引き締めて活動を続けていかなければと決意を新たにしました。今後も7千日達成を目指し各種事業に取り組んでいくので、引き続き協力をお願いします」と挨拶した。  
また、同日正午には、死亡事故ゼロ6千日達成を記念したふるまい会が開かれ、記録達成を祝うと共に、更なる記録更新に向けて安全運転の励行を呼びかけた。  
花火の音を合図にスタートしたふるまい会では、B・1グランプリで有名な十和田バラ焼きゼミナールによる本場のバラ焼きを無料で提供。その他、八甲田牛を使ったメンチカツ、県産牛のリエツトサンド、ミニクレープもふるまわれた。  
会場となった問屋町会館駐車場には開始時間前から人が押しかけ、正午の開始から数分で100名以上が来場。メンチカツやクレープ等は10分で品切れ。調理に時間がかかったバラ焼きも午後1時前には品切れとなった。たくさんの人で賑わう会場では、アピくん(青森県警察署キャラクター)と決め手くん(青森県産品PRキャラクター)が来場者を楽しませていた。  
組合並びに青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日達成(達成予定日…平成28年12月26日)を目指し、団地内従業員の交通安全意識高揚を図り、安全で安心な交通環境づくりを進める。



集団健康診断受付会場も人であふれる

6月3日(火)から5日(木)の3日間、問屋町会館2階ホールにおいて今年度1回目の集団健康診断が実施された。  
現在、青森県民の平均寿命は男女とも全国最下位であり、短命県返上に向けた取り組みが様々な分野で行われている。青森県の平均寿命の短さの背景には、生活習慣に加え、健康診断受診率の低さも要因の1つと言われる。  
そこで、当組合では今年度から、従来の組合員に加え、周辺企業への健康診断受診を促進。その結果、3日間の受診者数は昨年の247名を大きく上回る297名となり、早速効果が表れた。  
組合では今後も健康増進に対する啓蒙活動を行い、問屋町が青森市南部の健康づくりの中核となるべく取り組んでいく。

## 短命県返上へ向け集団健康診断を実施



安協 第41回定時総会

**平成26年度**  
**受講生募集中!**

地域中小企業の人づくりをめざして  
**問屋町ビジネススクール**

人づくり。



十和田バラ焼きゼミナールも参加

元木前理事長への顧問  
委嘱など承認  
第3回理事会

第3回理事会が6月23日(月)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また事務局からは、平成25年度塵芥収集及び紙類リサイクル等の回収実績や集団健康診断の実施等について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり  
案件一 事業委員会からの意見について  
組合管理施設改修工事の実施が承認された。  
案件二 労務対策委員会からの意見について  
問屋町納涼パーティーの開催などが承認された。

組合員昼食会を開催

組合員等の商品やサービスの紹介を行う組合員昼食会が、6月18日(水)に問屋町会館で開催され、組合員ら41名が参加した。

はじめに、青森市健康づくり推進課から青森市の平均寿命と健康づくりについて説明があった。

青森市の死亡要因の3割は悪性新生物(腫瘍)で、そのうちの半数を占めるのが肺がん、胃がん、大腸がんである。この3つのがんは検診による早期発見、早期治療が可能であるが、残念ながら受診率は10%にとどまっている。がん検診受診費用は、無料又は5

案件三 環境対策委員会からの意見について  
パソコンリサイクル回収事業の本稼働などが承認された。

案件四 倒産組合員跡地買取資金の借換について  
案件五 借入保証書について  
案件六 役員退職慰労金の支給について  
案件七 顧問の委嘱について  
元木前理事長への顧問委嘱が承認された。

案件八 平成26年度の役員報酬について  
案件九 平成26年度第4回理事会の日程等について  
理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第34回定時株主総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

花火について学ぶ

青森問屋町経営同友会

問屋町の若手経営者及び後継者などで組織される青森問屋町経営同友会の13回目となる会員交流会が、6月20日(金)にレストランフローリアで開催された。

同会会員18名が参加した交流会では、(有)丸山銃砲火薬店の丸山専務を講師に招き「花火について」と題した講演会を行った。

丸山専務は「日本花火の技術力は世界に誇れるものである。海外の花火との違いは、日本の花火はきれいな球形を描き、芯があり、途中で色を変えたりできることである」と解説。

続いて、正善商事(株)が自社の概要と取扱商品を紹介。同社は創業以来、制服や作業着の販売を中心に事業を展開。近年は、スポーツイベント用品や祭りにイベント用品の販売も手がけ、今別町のゆるキャラ「あらまくん」「たずねちゃん」の制作にも携わる。ねぶた関連グッズも10年以上前から取り扱い、簡単に着



組合員昼食会で自社商品を紹介

用できる子供用のハネット衣装「かんタッチゆかた」や大用のハネット衣装「わんタッチゆかた」は同社オリジナル商品として人気が高い。また昨年からは販売開始した子供用花笠カチューシャも、好評を博している。同社オリジナルのハネット衣装やカチューシャは問

また花火を見る時のポイントとして、①プログラムをもらう②ビニールシートが折れたらたみイスを持参する③風上に陣取る④打上げ現場からの距離を考える⑤陣取ったなら最後まで見る、の5点を挙げた。講演会終了後は懇親会が行われ、参加者全員が一言スピーチをするなどし、交流を深めていた。



同友会 会員交流会

青友会・同友会  
合同ゴルフコンペを開催

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)と青森問屋町経営同友会(同友会)の合同ゴルフコンペが6月21日(土)、ナクア白神ゴルフ場で開催された。今回で11回目となる同コンペには過去最多となる26名が参加した。

青友会前田会長と同友会柿崎会長挨拶のあと、インとアウトに分かれ、午前10時に同時スタート。途中、激しいスコールがあったものの、ドラクオン、ニアピンなどのアトラクションを楽しみながら和気あいあいとプレイ。ラウンド終了後には表彰式が行われ、青果流通機構の長内専務が初優勝を飾った。同氏は優勝とベストグロス賞をダブルで獲得、完全優勝を達成した。今回も各社から多数の協賛を受け、盛大な表彰式となった。

最後の太子食品工業(株)が会社概要や製品について説明を行った。  
同社の製品は豆腐が約半数を占めており、油揚げ、もやし、納豆、こんにやくなどがラインナップ。「太子納豆」は昨年納豆鑑評会で優秀賞を受賞するなど製品に対する評価は高い。遺伝子組み換え大豆は不使用、乳化にがりなど余計なものを使用しないなど、安心・安全・美味、そして健康をものづくりの理念として商品を提供する。



優勝した長内専務(左)と前田会長

積水ハウスグループ  
積和建設のリフォーム  
戸建・マンション・店舗  
一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他  
積和建設東北株式会社 青森事業所  
〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622

合い言葉はリサイクル！  
循環型社会を目指して...  
製紙原料問屋(古新聞・古雑誌・チラシ・牛乳パック他)  
株式会社 伸和産業  
青森中央営業所 青森市問屋町2-12-14 TEL(017)764-2755  
青森西営業所 青森市油川字岡田122 TEL(017)787-3455  
本社 弘前市堅田1丁目4-2 TEL(0172)35-5255

業務報告

主要事項

- 6月
  - 3日▽第1回集団健康診断
  - ▽県中小企業診断協会理事會・総會
  - 5日▽北日本流通V.A.N(株)三役會
  - 6日▽青森法人會第3回定時總會・講演會・會員交流親睦會
  - 9日▽県中小企業団体中央會理事會
  - 10日▽第1回事業委員會
  - 14日▽青友會・同友會合同グ
- 16日▽金融審査會
- ▽県流通団地連絡協議會講演會
- 17日▽第1回環境対策委員會
- 18日▽組合員昼食會
- ▽青森経済同友會通常總會・講演會
- 19日▽第3回合同清掃
- ▽第1回労務対策委員會
- 20日▽全国中小企業組合士協會連合會通常總會・中小企業組合士フォーラム
- ▽問屋町経営同友會第13回會員交流會
- 22日▽第1回録のボランティア隊
- 23日▽第3回理事會
- ▽青森問屋町配送(株)第34回定時株主總會
- ▽青森市産業振興財団理事會
- 24日▽第1回問屋町従業員モニター會議
- 25日▽全国卸商業団地協同組合連合會第47回通常總會
- 26日▽安協問屋町支部定時總會・ふるまい會
- ▽全国卸商業団地協同組合連合會第1回事務局長會世話人會
- ▽市高度化事業団体連絡協議會通常總會
- 27日▽北日本流通V.A.N(株)第25期總會

間屋町 ビジネススクール

- 5日▽ビジネスマナー研修・名刺交換編
- 7日▽新入社員研修(フォロアップ)
- 10日▽営業スキル研修・創造力編(1日目)
- 12日▽営業スキル研修・創造力編(2日目)
- 14日▽中堅社員研修(1日目)
- 21日▽中堅社員研修(2日目)
- 24日▽これから学ぶ会計経理・試算表編(1日目)
- 26日▽これから学ぶ会計経理・試算表編(2日目)

経済雑感

第五十九回

青森県商工会連合會 専務理事 吉川 源悟

『経済雑感』シリーズ第30弾目は、青森県商工会連合會の吉川専務理事にご寄稿いただいた。

経済の回復基調とは裏腹に、大手製造業が人手不足に悲鳴をあげている。およそ一年前までは予想だにできなかったことだ。景気低迷で地方から首都圏や大手企業に流れていた労働力は、地元雇用の拡大とともに減少する。好条件の募集でも採用難の改善は見込まれず、少子化の進行

と相まって、ことは厄介だ。景気低迷を理由に期間従業員や派遣労働者の非正規雇用を拡大してきた製造現場だが、リーマンショックで拠点集約や事業再編を迫られるなか、多くの非正規雇用の解雇や契約打ち切りは、大きな社会問題になった。そして今、ある大手企業では、工場労働者の確保に期間従業員の正社員化や繁忙期には新卒社員の工場勤務で乗り切ることを検討しているとか・・・如何にも一時しのぎで、どこか歪(いびつ)な感じがしてならない。採用難に喘ぐ大手企業を見



青森県商工会連合會 専務理事 吉川 源悟 氏

るにつけ、中小企業はより深刻な事態に直面していると想定すべきだろう。昨年度の平均有効求人倍率が過去最高を記録した本県で、建設業の雇用確保が厳しかったことなどは、その証左かと。

この6月、青森商工会議所が会員企業を対象に行った経営課題アンケートでは、「人材の確保・育成」が昨年度より7.2ポイント増加しトップに。「人材流失防止、就労場所の確保」に伴う技術力低下の心配」等の意見や要望も多かったようだが、現在の経済実態を反映

(つづく)

**STS** ロジスティクス・ソリューション

**株式会社 新開トランスポートシステムズ**

- ◆総合物流事業
  - 包装・輸送・保管・荷役・据付・撤去
  - 包装資材加工及び物流機器の販売
  - 技術・情報システム内のソフト開発及び販売
  - 工場クレーンルームの搬入・据付・搬出・輸送
  - 医療機器・半導体装置・精密機器・その他機器の輸送・搬入・据付・撤去
  - 倉庫内セキュリティ完備・一部空調設備有り
- ◆電気通信工事サポート
- ◆物流システム設計
- ◆ネットワーク&ネットワーク
- 輸送ネットワーク・情報ネットワーク・ネットワーク
- ◆産業廃棄物収集運搬

本社 TEL:03-5653-9335 FAX:03-5653-9337  
 青森出張所 TEL:017-728-7080 FAX:017-728-7081

**(株)東北タンク商会**

いつも、あなたの...

**イツモイツモレンタカー**

スクラス限定!!お値段据え置きで!!

2,594円~

WEB予約限定価格一例(税込) -スタンダードシーズン料金(12時間まで) -

Sクラス [コンパクト] 2,594円~ 12時間まで	MSクラス [ミドルセグメント/ファミリー] 4,104円~ 12時間まで	Wクラス [ワゴン] 7,182円~ 12時間まで	LWクラス [ラージワゴン] 8,208円~ 12時間まで
--------------------------------------	--	------------------------------------	--

■車両 - 対物事故免責補償制度加入料別途:1,080円/日(24時間限定)・税込み  
 ■WEB会員登録料は、WEB予約の場合のみ適用されます。WEB会員の方店舗・電話で予約されても一般料金での貸渡しとなります。

青森銀行 ● サンドー ● 観光通  
 青森山田高校 ● サンドー ● ペニーマート ●

**青森観光通り店**  
 青森市浜田字豊田384 ススキアリーナ観光通り内  
 ☎017-763-5730

**新青森駅前店**  
 青森市石江字江波32-11  
 ☎017-761-1077

安心 365日 24時間体制 安全

<http://www.8tohnichi.co.jp/>

**東日運送株式会社** 代表取締役 庄子 哲朗

【業務内容】

- ・半導体機器輸送(超精密機器)
- ・重量物機器輸送&搬入据え付け
- ・医療機器輸送
- ・遊技機輸送&倉庫管理業

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町4-2-2  
 TEL:022-231-5036 FAX:022-231-5634  
 青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町2-13-20  
 TEL:017-764-3866 FAX:017-764-3867

青森県経済の可能性について学ぶ  
青森県流通団地連絡協議会

青森県内5卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、6月16日(月)に、ホテル青森で講演会を開催し、各卸団地や関係団体からあわせて50名が出席した。

今回の講演会では、元日本銀行青森支店長で、現在は政経研究大学院大学の教授である木下智博氏を講師に招き、「外から見た青森県経済の可能性」隠れたポテンシャルとその活かし方」をテーマに講演を行った。

木下教授は、はじめに自身の研究分野である地方経済の金融面が抱える問題点についてふれ「新しいモノをつくり

新役員に聞く!

新役員に聞く2人目は、理事に就任した三協運輸株式会社の木村社長にお話を伺った。

同社は貨物運送業として昭和51年10月に設立。青森、弘前、八戸、秋田4つの拠点があり、現在ではトラック167台、従業員約240名となっており、食品関係の配達が全体の90%近くを占めている。主な取引先がスーパー、コンビニとなっており、夜間配送が多く、朝寝、夜働という通常とは反転した生活に従業員が慣れたまで、当初は大変苦労したという。

あげる時は元手となるお金が必要であるが、地方経済においては、地元で預けられたお金が地元の信用や与信として還元される仕組みになっておらず、お金の地産地消がなされていない。また、手形レス化が進み、銀行振込が一般的になっていくため、一時的な資金調達の手段が昔に比べ失われている。売掛金は貸借対照表上で大きなウエイトを持つにもかかわらず、流通性に欠け、資金調達の手段として十分に活用できていない」と解説。その上で、手形や売掛金の問題点を克服した新たな資金調達手段として利用が広まりつつある電子記録債権について紹介した。

電子記録債権は、中小企業者の資金調達をより円滑にする

木村社長は同社の他、三協グループとして自動車整備業の三協自動車工業株式会社、廃棄物処理業の三協クリーンサービス株式会社、旅客運送業の青森観光バス株式会社、秋田観光バス株式会社の代表を務めている。

更には、営業トラック運送事業の健全な発展をうながし、社会と共生する事業を育成していくトラック運送事業者の団体、公益財団法人青森県トラック協会の会長も務めている。



三協運輸(株) 社長 木村 英敬 代表取締役

業界の現状について伺うと、「ガソリンの価格高騰で運送業界は厳しい状況にある。そんな中でもこれからは従業員の待遇を良くしていかなければならな

ることを目的に法整備された金銭債権で、利用には電子債権記録機関(主に銀行が窓口)への申込みが必要。個々のモノやサービスの取引を電子記録債権とすることで手形と同様に第三者に譲渡したり、金融機関で割り引くことで早期に資金調達することが可能となる。

木下教授は最後に「青森県が持つポテンシャルは決して隠れていない。県の中心部から30分圏内で各交通インフラが利用できる地形面での優位性や、本州の中で太平洋と日本海の両方に面した唯一の県であり新商品や六次産業化の種となりうる農水畜産物が多様にある。そして何より、青森の人は作業品質や品質管理のレベルが全国的に非常に

い。同業他社と比べた時に、自社の待遇はどの辺りに位置するものなのかしっかりと考える必要がある。この人手不足の時代に思い切った政策を考えていきたい」と意気込みも語った。

「トラック協会では、国から委託されている『青森県貨物自動車運送適正化事業実施機関』として関係帳票類の調査をしており、社内での業務や運行管理等が適正に行われているかどうかを指導している。社外だけではお客さまへの評価に繋がるとも話した。理事に就任しての抱負について尋ねると、「問屋町は青森では

高く、目標に向かって粘り強く邁進する気質を持つ人財が豊富で、経済を牽引していくポテンシャルをすでに兼ね備えている。あとはいかにそれらを組み合わせ活かし、新しいモノをつくりだせる可能性は無限にある」とくくった。



県団地協議会 講演会

編集後記

昨年8月号の編集後記でも取り上げましたが、青森県の平均寿命は男女とも全国最下位。健康寿命では男性は全国最下位、女性が33位です。短命県返上するためには官民あがって地道で持続する取組が必要ですが、そのためには飲酒・喫煙・減塩など意識改革。加えて、働く世代の死亡率を下げるためには、健康診断受診率の向上が急務です。そこで当組合でも今年度からの事業として問屋町周辺企業にも健康診断の受診を促進しました。その結果、今回の受診者数は、昨年の247名を上回る297名となりました。今後とも受診率の向上に持続的に取り組みたいと思います。転話題。前回に続き「問屋町ブランド戦略」についてです。問屋町ブランド戦略で狙いとする効果は①信頼度の向上②他地域との差別化③ワンアンドオンリーの存在④広義の跡地対策⑤一体性の維持。などが考えられます。問屋町ブランド戦略は組合員だけでなく多様なステークホルダーを巻き込み、そのゴールとしては「卸商業団地」から「ビジネスパーク」への転換を図るということです。『ビジネスパーク』とは「青森市で一番企業活動がしやすいという本質的価値を持ち47年の積み重ね」がある問屋町を「卸業の物流拠点を中核に小売・サービス業や文化施設も備えた青森市の副都心」ともなる業務地域に改めて位置付けることです。(藤本)

ユニフォーム & イベント



「花笠カチューシャ」と「かんたんチヨカた」

正善商事株式会社

〒030-0131 青森市問屋町1-6-22  
TEL 017-738-2450(代)  
FAX 017-738-2664



透明感のある、ふっくらもちもち肌へ!  
プロテオグリカン・フラセンタエキス配合!!  
『雪華ひとひら・乳液』新発売  
60ml 本体価格 4,000円+税  
問合せ:東北化学薬品(株) 青森支店  
TEL: 738-4451 FAX: 738-0278